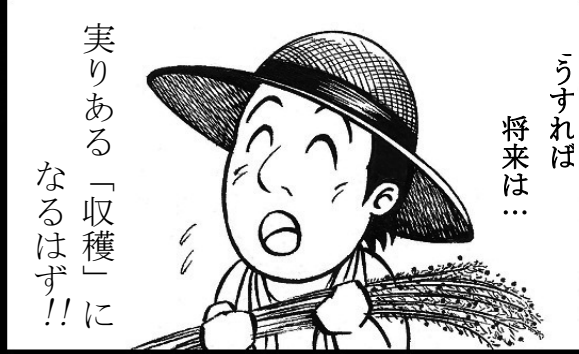
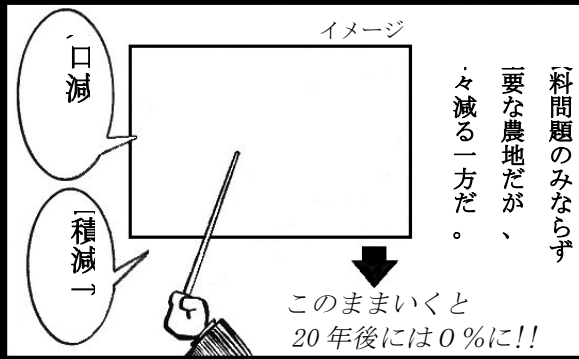


このままじゃNO政！



【一般質問③ 実は重要、松戸の農業！】

壊滅の危機の「農地」を守れ！

◆ 松戸市にも農地が必要な理由 ◆

松戸で農業、と聞いてピンとこないのも無理はありません。と言うのも、今や農家の人口比率は僅か1%未満(0.9%)、耕地面積は市域の1割強(12.9%)に過ぎません。

農地の確保は、食料・エネルギー面だけでなく、自然環境の保護や景観、災害時などにも力を発揮し、広く経済効果に影響します。普段は意識していなくても、我々の生活を影で支えていてくれる必要不可欠な存在です。

しかし、高齢化や後継者不足、経営困難などで、農家数は減る一方。このままでは今の畑や田んぼも‘マンション’や‘駐車場’に姿を変えてしまうでしょう。人工的な街の姿になり、我々はますます「土」から離れた生活を強いられてしまいます。今こそ、手を打たなければなりません。

【山中の提案】

市が責任を持って農地確保に取り組んだ上で、市民が広く農業に協力できるような仕組み作りを急ぐべき。(例：直売所など) また、話し合いの場である「農業振興協議会」

などもどんどん^{オープン}公開にして、市民に方向性を示すべき！

【一般質問④ 新松戸7丁目・神明掘】

どうなる、けやき通りの貫通問題！？

ここにきて急に再燃した新松戸けやき通りの問題。当初、市は神明掘(けやき通りの行き止まり)の河川改修工事に合わせて、将来架橋が架かった時に対応できるような太い杭を打っておこうとしました。これに地域住民の一部が「貫通の前触れでは！」と心配の声をあげ、山中は、どちらになるにしても決定過程で市民参加があまりにも無視されているのは問題だと指摘。この質問を受けて、市は

『住民の合意形成がとれるまで、架橋建設は未定』との旨を表明しました。引き続き、12月以降も説明会等が繰り返されています。傍聴者数の多さからも、地域でもっと深く話し合う時間が必要だと考えます。

<松戸市立病院・移転計画>の住民投票へ向けた集会

東松戸への新病院移転計画に対し、是非を問う住民投票実現へ向けて市民団体が動き出しました。私の議会質問でも「決定過程での市民参加なし」という答弁でしたから、財政面、地理面に加え、決定過程でも疑問に思う人がいても全くおかしくありません。賛成派も反対派も、一見の価値アリです！

■1月17日(日)18時～ 市民劇場ホール(無料) ■

代表

「新病院整備基本計画の賛否を問う住民投票を実現する会」連絡先：330-0782 渡辺勝義氏